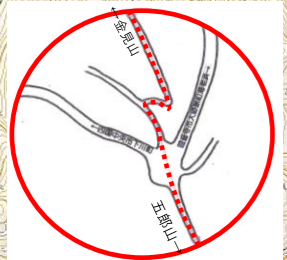


法泉寺
法泉寺には、樹齢100年から150年のモミジの木10数本を含め、30本以上のモミジの木々が秋には庭を赤く染め上げます。また、山門をくぐり左側にはお釈迦様ゆかりの木と知られる「菩提樹(ぼだいじゆ)」があります。この木は香川県の保存木で、樹齢約400年と推定されています。同じく樹齢400年で観音寺市の指定文化財(天然記念物)の「ラカンマキ」も植えられており、法泉寺では希少価値の高い樹木が見られます。



豊稔池ダム(ほうねいけダム)
度重なる大旱魃への対策として大正15年(1926)に着工され、昭和5年(1930)に完成した豊稔池ダムは、現存する日本最古の石積式マルチプルアーチダム(アーチ止水壁が複数連なるダム)です。



道迷い注意

雲辺寺(讃岐最大の関所寺)
縁起によると、延暦8年(789年)にさかのぼり、16歳の佐伯真魚(のちの空海・弘法大師)が「普通寺」(現在の75番札所。空海生誕の地)を建立するための建材を求めて山に登り、この地を訪れ、深遠な霊山に心うたれて堂宇を建立したのが起源とされています。
雲辺寺の住所は「徳島県三好市池田町白地ノロウチ763-2」ですが、運路道のルート設定の関係で便宜上讃岐の札所とされています。
愛媛県から境目峠で一度徳島県に入り、雲辺寺までの「運路ころがし」は徳島県の運路道で、実は雲辺寺山の山頂に徳島県と香川県の県境があるのです。
お寺自体が県境になっているとは、まさしく「関所寺」という言葉がぴったりです。



石地藏
(弘化四年羊年・1847)
右こんぴら・左うんべんじ



六地藏峠
駐車スペース: 2~3台

道迷い注意

六地藏峠

五郎山
香川県・愛媛県・徳島県の三県境界ポイント



【四国のみち】の看板あり
駐車スペース: 2~3台

登山道なし

道迷い注意

四国のみち 舗装林道(一部をのぞく)を歩く。

